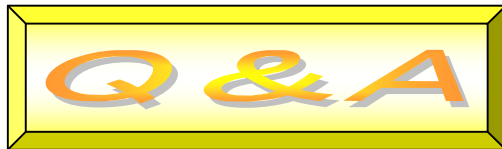


(概要版)

児童の望ましい人間関係を形成する学級活動の工夫

—言葉のハートマップとよさのフィードバックを取り入れて—

長期研修Ⅱ 研修員 大島 正幸



☆人間関係の改善を目指した、この研究について教えてください。

最近の子どもたちにおける人間関係の傾向はどうなっていますか？

仲間から外されたくないで、相手に合わせている。新たな人間関係もなかなか築けない・・・。子どもを取り巻く社会の様子にも影響があると考えています。

昔と比べて、子どもたちが人間関係を学ぶにくくなっているのではないですか？

そうですね。少子化や、地域での人の結びつきも少なくなっている中で、学校の中でこそ望ましい人間関係を学べる絶好の場だと言えるのではないのでしょうか。

望ましい人間関係って、どういう関係ですか？

学習指導要領には「互いを尊重しよさを認め合うような関係」とあります。

「互いを尊重する」ってどうとらえたらいいのですか？

「互い」とは自分と友達、「尊重する」とは大切にしますので、「自分も友達も大切にすると、とらえたら分かりやすいでしょうか。

なるほど。でも小学生には抽象的でなく、具体的に教えたいのですが？

はい。そこで気持ちを表している日常の「言葉」を、自分軸と友達軸でできた「言葉のハートマップ」に当てはめながら、自分も友達も大切にすることを育てようと考えました。2Pを見てくださいね。

また、「よさを認め合う」はどういうことですか？

はい。それは、Aさんが感じたBさんの「互いを尊重している」よさを、教師からもBさんを賞賛してあげる「よさのフィードバック」を具体的に行います。3Pを見てくださいね。



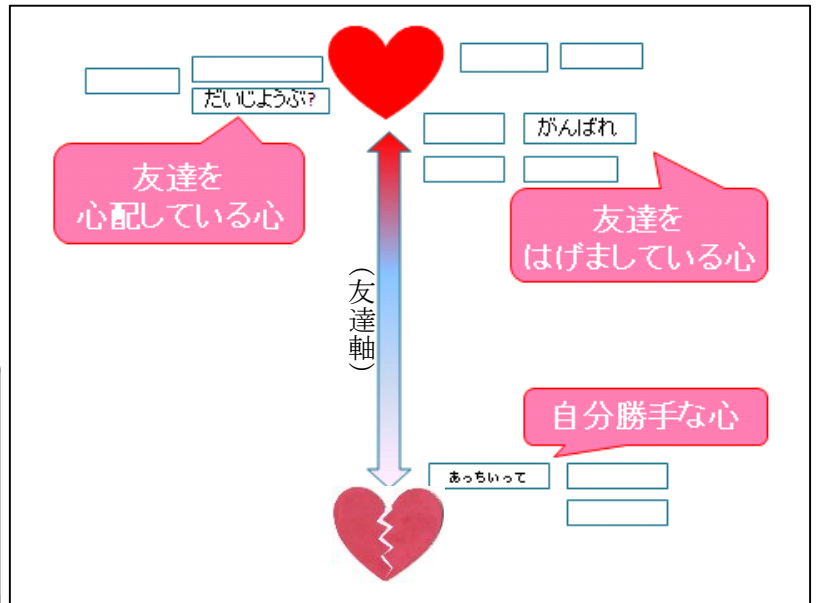
○ 互いを尊重する心を育てる活動（学級活動Ⅰ～Ⅲ）

言葉のハートマップ

互いを尊重する心を育てるために「言葉のハートマップ」を活用しました。

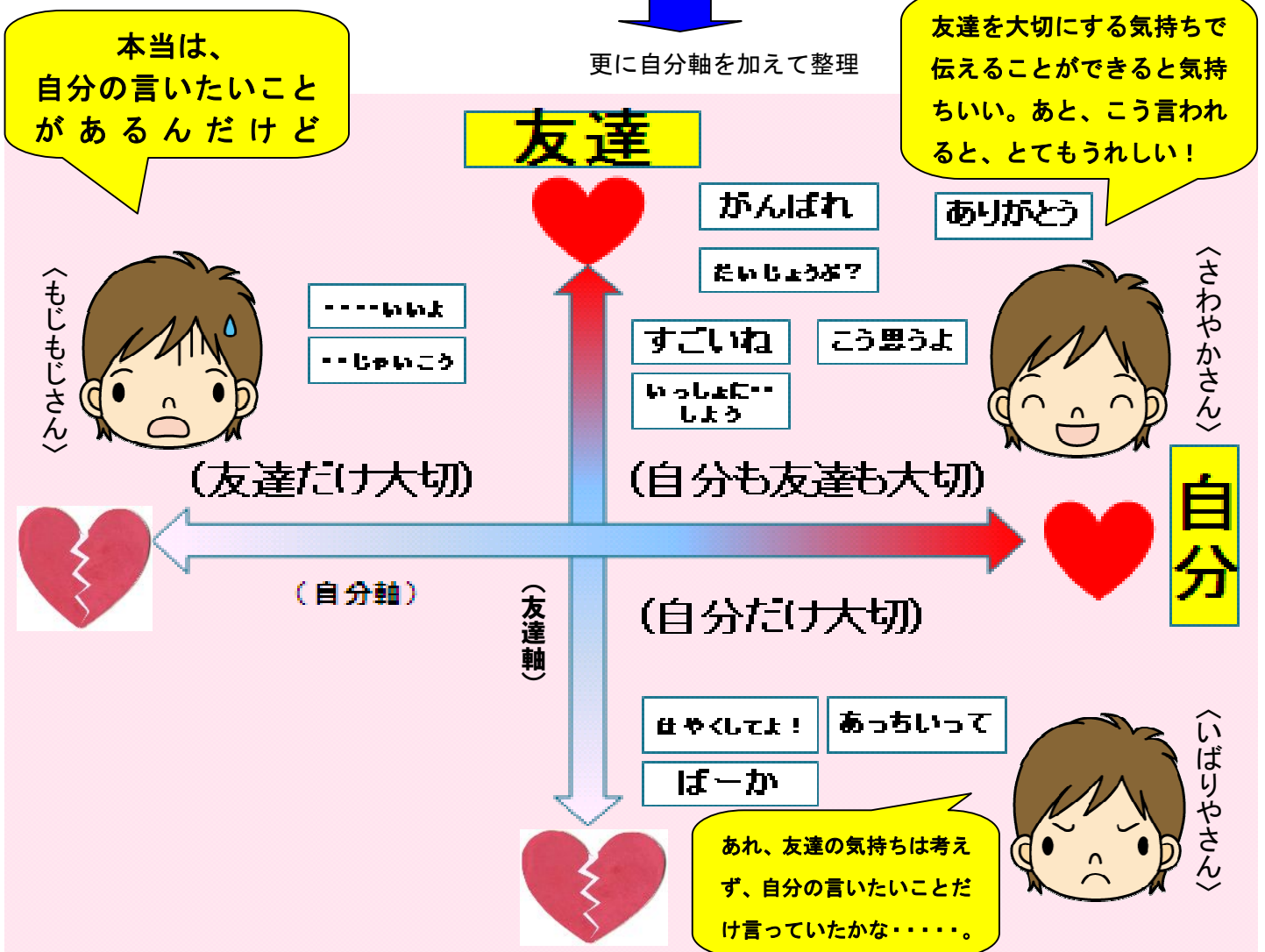


自分が言われてうれしかった言葉といやだった言葉を付せんに書いてはってみましょう。



友達軸のみで、吹き出しにその気持ちを記入

更に自分軸を加えて整理



○よさを認め合う活動（朝の会・帰りの会）

よさのフィードバック

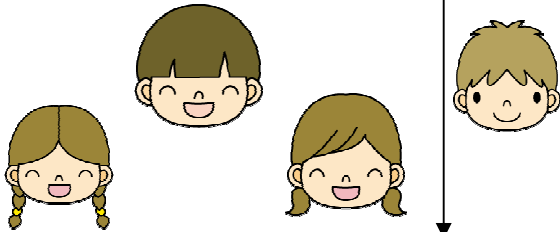
朝の会から ~5日間~

○ある日のできごと（ワークシート・ロールプレイ）

- ①「友達にアドバイスをする」
- ②「友達と違う意見を言うとき」
- ③「友達が失敗をしてしまったとき」
- ④「友達の誤解を解きたいとき」
- ⑤「M君の悩み～友達をふやしたい～」

さわやかさんになって、言ってみよう！（3人組）

友だちのよさをわかちあう



ある日のできごと・

朝の会④



AさんはBさんと大の仲良しで、何をするにもいつもいっしょです。そしてCさんは、Aさんともっと話をしたり、遊んだりしたいなあと思っていたので、ある日Cさんは、勇気をだして、Aさんに声をかけ、楽しくいっしょに遊びました。ところが次の日……。

その時、私だったら…（Aさんの立場になって：さわやかさんで言ってみよう！）

Aさん：「Bさん、おはよう。」
 Bさん：「……………」
 Aさん：「今日の休み時間、いっしょに遊ばない？」
 Bさん：「え？…Cさんと遊べば？」
 Aさん：「どうして？」
 Bさん：「だって自分のことは、もうきらいなんですよ！」
 Aさん：「え!? それはごめいだよ……………」

学校生活の中から

学級活動Ⅰ～Ⅲの後、自分も友だちも大切にする実践仲間へ、自己目標を設定して実践！

友達の「互いを尊重している姿」のよさに気付こう。

帰りの会にて ~振り返り~

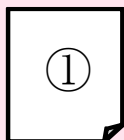
さわやかシート（振り返りシート）に、友達のよさを記入する。

行動への意欲向上

③ ↑
自己肯定感の高まり

よさのフィードバックの流れ

① ぼくが食缶を運んでいるとき、B君が「だいじょうぶ、手伝おうか」と言ってくれた。（とてもうれしかった）



教師

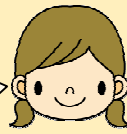


B君のシートにコメント

② 給食の後片付けのとき、B君から「だいじょうぶ、手伝おうか」と声をかけてもらった友達が、とてもうれしく思っていましたよ。友達を大切にした言葉かけができてえらいですね。

児童の変容

最近、友達がやさしくなってきた。「もじもじさん」や「いばりやさん」に、みんなならなくなったね。



みんなが、進んで手伝ってくれるよ！



自分なりにやさしく声をかけることができてきたと思います。なので友達も増えてきてうれしいです。これからも続けて行きたいです。



前は話さなかった男の子や、仲のいい友達以外とも話せるようになって仲良くなってきました。



〈自分や友達に変化が見られる感想より〉

実践一ヶ月後の学級の様子 ～担任より～

友達同士のトラブルになった時に、自分が言うべきことをきちんと言えなかったからとか、自分の言い方が少し強すぎたからなどと分析するようになりました。



さわやかさんを意識して

互いを尊重して

話合いの時や、友達に意見を伝えたい時、友達の気持ち大切にしようとしている姿が随所に見られるようになり、クラスが明るくなりました。

まとめ

互いを大切に思う心がふれあうことで、児童の心に安心感と喜びが生まれています。「さわやかシート」の見取りからは、友達への「感謝」「励まし」「賞賛」「思いやり」などの、心あふれる言動がやりとりされ、互いを尊重する姿が多く見られます。児童はその姿を認め合い、教師よりフィードバックすることで、自己肯定感が高まり、更なる互いを尊重する姿へとつながる良い循環となっていると考えられます。望ましい人間関係を形成する上で、大切な資質が育ってきています。

